

三年二組 枋谷 康太 (男)

1



思いやりとコミュニケーション

枋谷 康太

今はコミュニケーションがともまなくな

つたと言われています。

その原因はメールなどで人との会話が少な

くなつたりみんな遊びに集まっても家

の中でゲームばかりやっていて外で走り回

つたり自分達で考えた遊びをしない事や、

昔は近所で物のかしかり子どもを預かるな

どしていたけれど今は近所の人の顔も知ら

ないような人がふえたからだと思います。

だから僕は近所の人に会ったら自分か

らあいさつしたり友達とおたがいの事をわ

かりあうために話をしたり一緒にたぐさ

ん遊ぶ事にしています。

またこの世の中には体の不自由な人がい

ます。僕のおじいちゃんも病気で目が見えま

せんでした。

だから僕は食事の時おじいちゃんの手を

ひきながらテーブルに連れて行ってあげたり

大きな声でゆくりと話をしたり、別れるときは必ずあくしゅをしました。

おじいちゃんには、僕の頭をさわって身長を

感じ、ひざに僕を乗せて体重を測っていました

た。すると

っ大きくなっ たね。

や

っ少し重くなっ たんじゃない。

などと、うれしそうに言ってくれました。

家の中では、おじいちゃんがわからなくな

らないように、家具の置き場所も変えず、ト

イレの便きぶたもしめないようにしていまし

た。

外出した時には、人の肩をたよりに歩いて

いました。家の中でもせいかくにはたどりつ

けない時には手をひいてあげました。

おじいちゃんは僕に小さい頃からいろいろ

な事を教えてくれました。

その理由は、僕が大きくなるまで元気でい

られるかわからないので、できるだけたくさ

んの事を教えられたらいいと思っ
てくれたか
らです。

そのおじいちゃんもおとしはい
炎で亡く
なっ
てしま
いました。
それは
とても
悲しか
っ

たけれど、僕はたくさん
の事を
教えて
くれた
おじい
ちゃん
には今
でも感
し
や
して
いま
す。

僕がおじいちゃんに
だ
した
よう
に、
体が
不
自
由な
人
には
優
し
く
し
ん
せ
つ
に
し
た
い
と
思
い
ま
す。

しかし、時にはバスの中
など
でお
ば
あ
さ
ん

にせきをゆずろうと
して
も、

私はまだ若い。

と言っ
て
す
わ
ら
な
い
人
も
い
る
の
で、
し
ん
せ
つ
に
す
る
事
は
と
て
も
む
ず
か
し
い
な
あ
と
思
っ
た
事

があります。

でも僕は人への（思いやり）
を持
っ
て、
恐

からず
に
し
ん
せ
つ
に
し
た
い
と
思
い
ま
す。
そ
れ

が、マナーを守り、コ
ミ
ュ
ニ
ケ
ー
シ
ョ
ン
を
広

げる
事
に
つ
な
が
っ
て
い
く
と
思
う
か
ら
で
す。